

三月例会御案内

(平成二十六年・第三三一回)

時代を刷新する会

<http://www.jidaisassin.jp>

○御案内

三月五日(水) 正午〜二時半。

衆議院第一議員会館 地下一階・第五会議室

議題 安倍内閣の教育改革の課題と経過!

講師 小林 正先生(教育評論家、全国教育問題協議会顧問、元参議院議員)

安倍内閣は、安倍総理はじめ各閣僚が、それぞれの分野において、スピード感をもって、政策実現に向けて積極的に活動しており、その結束した熱意には敬意を表しております。特に、下村博文文科科学大臣は、昔から文科科学大臣になることを念願としておられたので、その教育政策には目覚ましいものがあります。たしかに、「教育は国家なり」という言葉があるように、教育は国家の基礎をなすものですから、これには、大いに期待をしております。安倍内閣の教育改革は、かなりの分野にわたりますので、このたびは、以前から教育改革の研究・分析で知られております小林正先生(教育評論家、全国教育問題協議会顧問、元参議院議員)に、安倍内閣の教育改革の課題と今日までのその経過について、御解説をいただくことにしました。重要課題、お誘い合わせ、奮って御参加のほど、よろしくお願い申し上げます。(清原記)

◎ 当日会費 四千円(昼食・講師料ほか) 三月三日(月)までに、出欠の御連絡賜りたく) 当日連絡先 080-30005-3089・重田

□御報告

去る二月十四日の月例講話会は、パソコンやスマートフォンなどIT機器への電波による侵入・盗取・攻撃が甚だしく、多くの個人・企業・自治体・省庁・国家組織が被害を受けている折柄、当団体の情報セキュリティにも関与している原口武士システムの構築・セキュリティ専門家、「情報セキュリティの現状とその対策!」と題して、御講話をいただいた。これは重要課題であるにも関わらず、当日は生憎の雪降りのため、出席者が四分の一になったのは残念。その解説要旨は、一九九五年にマイクロソフト社がWindowsを発売してからは、パソコンが普及し、個人間ではメールの交換、企業では情報をホームページで発信するようになり、同時に、情報が流出する事件・事故が増えていった。次に情報が漏洩する仕組みとしては、①

会社のパソコン作業を自宅で仕事を続けようと善意で考え、USBメモリなどに複製して、自宅パソコンへ入れた結果、それがウイルスに感染していたため、広く外部へ流出する場合。②社内人間が、会社情報がい値で売れると考え、悪意で複製し持ち出すケース。③社外者が、標的にした企業・団体の情報を盗取するため、その企業のパソコンにウイルスの入ったメールを送ることにより、ウイルスに感染させ、その重要データを盗む方式。④(無料の)日本語変換ソフトなどを入れさせることにより、会社の情報をすべて抜くという方法もある。これらを阻止するセキュリティ対策としては、a、メーカー側もそのソフトを折々最新のものに変えているので、必ずそれに切り換えること。b、侵入者も常に新しいウイルスを考えるので、メーカーが折々出すウイルス対策ソフトに切り換えること。c、前記日本語変換ソフトなど外国製のソフトを使わないこと。d、侵入ウイルスにより、重要情報が破壊される場合があるので、重要情報は必ずバックアップをとること。最終的対策としては、データはすべてサーバーに入れ、そこから情報を引き出して使うこと等々、大層貴重な解説で勉強になった。(清原記)

▽当「時代を刷新する会」は、「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって設立されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長。第三代が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正十郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。現在は、江口一雄元衆議院議員が会長代行に就任しており、理事長は、平成十四年から半田晴久が就任しております。

毎月の月例会のほか、内部に、教育部会、安全保障部会、医療福祉部会など八つの部会と、環境技術委員会、新エネルギー委員会等の委員会があり、これまでに、政府へ一三七本に及ぶ要請書・意見書を提出するなど、活発な活動を展開しております。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事兼事務局長・清原淳平、総務 重田、高津

◎ 同封のハガキまたはFAXにて、三月三日(月)までに、着信をお願い申し上げます。

▼事務局FAX(03)3507-8587

御芳名

貴方様のFAX番号

三月五日(水) 正午〜二時半 出・欠 衆議院第一議員会館 地下一階・第五会議室